

地球環境や風力発電の出前授業

(公営企業局電気工水課)

1 概要

公営企業局では、これまで3箇所の風力発電所を建設し、県営事業として令和6年度まで運営してきました。

このことから、子どもたちに地球温暖化など環境問題への関心を持ってもらい、再生可能エネルギーや省エネへの理解を深めてもらうことを目的とした「出前授業」を実施しています。

出前授業では、主に風力エネルギーを中心とした内容で進めており、県内小中学校の総合学習のほか、保護者主催の学年行事などでも活用いただいています。

2 体験を通じた学習

出前授業では、まず風力発電や環境問題についての基礎的な講義を行います。講義は、受講される子どもたちの学年を考慮した内容で実施しています。

講義終了後は、ペットボトルで風車の羽根を作成してもらいます。この羽根を風力で回して電気を起こし、発電量を計る実験を行っています。

また、授業で作成していただいた風車の羽根をご家庭の扇風機などで楽しめるように公営企業局オリジナルの手持ち棒を配布しています。

その他、公営企業局では「風力エネルギーブックレット」を作成しており、風力発電や再生可能エネルギーについてわかりやすく学習していただけるよう、出前授業の際に冊子の配布を行っています。

なお、出前授業の詳細な内容や申し込み方法については、公営企業局電気工水課のホームページに掲載しています。

※出前授業のご案内

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/koueikigyou-chiiki-dema/>



出前授業の様子



ペットボトル風車の発電量測定風景



ペットボトル風車の羽根と手持ち棒

森林活用指導者育成事業

(生涯学習課)

1 現状と課題

令和2年度に、高知県社会教育委員会より体験活動を支える人材の育成等に関する提案がされました。高知県では私立学校を含め学校林を保有している小中学校のうち、これらを活用しているのは一部の小中学校となっています。

その理由の一つに、指導者等の人材不足が挙げられていることから、森林保全に関する知識・技能をもつ人材や、学校林だけでなく身近な自然環境を活用した体験活動を支援することのできる地域人材の育成が必要だと考えられます。

2 施策の展開

(実施した取組)

・森林活用指導者育成研修

目的：児童生徒を対象に体験を中心とした森林環境教育を推進することのできる人材の育成

○第1回：令和6年9月28日（土）

会場：高知県立高知青少年の家

内容：高知県の森林の現状・学校における森林環境教育・体験活動における危機管理、多様な児童生徒とのコミュニケーションのあり方についての講話



○第2回：令和6年10月26日（土）

会場：認定こども園 若草幼稚園 すくすくの森

内容：里山保全の事業説明、整備活動



○第3回：令和7年1月25日（土）

会場：高知県立森林研修センター情報交流館

内容：森林環境教育の実践、研修修了者からの講話、資材を使った木工作体験活動

○第4回：令和7年2月10日（月）

会場：四万十町農村環境改善センター、
四万十町立東又小学校

内容：自己プロフィールの作成
学校林を活用した事業説明及び体験



・森林活用指導者資質向上研修

目的：育成研修を修了した指導者を対象に、指導者のスキルアップや指導者同士の交流を図る

○第1回：令和6年9月28日（土）

会場：高知県立高知青少年の家

内容：高知県の森林の現状・学校における森林環境教育・体験活動における危機管理

※一部を育成研修との合同開催

○第2回：令和6年12月14日（土）

会場：認定こども園 若草幼稚園

内容：森林環境教育の企画

(実施しようとする取組)

環境教育に関する講義や技能演習等を織り交ぜた魅力あるプログラムを設定します。学校林を活用した演習では、実際に子供たちと関わりながら環境学習を深めていきます。

あわせて、育成研修を修了した指導者を対象としたフォローアップ研修を実施し、指導者のスキルアップを図ります。

また、研修修了者が各地域で森林環境教育を推進できるよう、市町村教育委員会や関係機関に情報提供することにより、児童生徒の森林環境教育の充実に繋げていきたいと考えています。

県立森林研修センター情報交流館

(林業環境政策課)

1 概要

森林研修センター情報交流館は、平成11年4月に、森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに森林環境学習の推進と、森林に関するボランティア活動などの支援を目的とした施設として香美市に開館しました。



情報交流館

2 運営主体

指定管理者：情報交流館ネットワーク

3 施策の展開

(1) 森林環境教育推進事業

学校教育と連携し、子どもたちが暮らしと森林の関係について理解と関心を深めるための環境学習や体験学習プログラムを実施しています。

また、木の温もりや香り、音など五感を使って木とふれあう「木育」を実践し、子どもたちの豊かな心の育成に繋がっています。

令和6年度は森林散策や間伐体験、木工体験など合計164回延べ7,148人が参加しました。



森林環境教育推進事業

(2) 森林環境教育指導者養成事業

森林環境教育の重要性を普及啓発する人材を育成し、情報交流館や県全域で活躍する森林ボランティアリーダーを育成する森林環境教育指導者養成事業を実施しています。

本事業は知識や技術を高めるための通年講座と、より参加しやすい単発講座の2区分で実施しており、令和6年度は通年講座として竹細工講座などの2種類、単発講座として刈り払い機初心者講座や薪作り講座などの8種類の計10種類を全17回に分けて行いました。



竹細工講座



スウェーデントーチ作り講座

(3) ボランティア活動の支援

行政やボランティア団体等との橋渡し役や、より充実した森林環境学習を提供するため、また指導者間の交流の場として、森林ボランティアを対象にした勉強会を開催しています。

4 今後の取組

一般の方々にも広く講座を周知し、受講された方々にボランティア活動への興味を持っていただけるよう、人材を育成する取組みを実施します。

コクヨ-四万十 結の森

プロジェクトへの参加

(高等学校課・四万十高校)

1 概要

四万十高校は、平成11年から普通科に「自然環境コース」を設置し、高知県の恵まれた自然環境を生かした環境教育に関する取組を積極的に行っています。

これまでに「森と川と海のつながりフィールドワーク」など幅広く環境学習を行ってきました。

2 施策の展開

(実施した取組)

コクヨ-四万十 結の森プロジェクト

(1) 目的

森と川と海のつながりや、自然と地域のつながりを知り、四万十川周辺の環境を考え行動する人材となる。

(2) 主催

コクヨ株式会社・四万十町森林組合
高知県立四万十高校

(3) 開催日

- ① 令和6年 5月21日 (火)
- ② 令和6年 5月31日 (金)
- ③ 令和6年 6月 1日 (土)
- ④ 令和6年 10月29日 (火)
- ⑤ 令和6年 11月 2日 (土)

(4) 開催場所

四万十町大正

(5) 実施内容

- ① 結の森 清流度調査 (事前)
- ② 四万十高校プレゼンテーション
 - ・結の森の活動
 - ・清流度調査方法の説明
- ③ 結の森 清流度調査 (当日)
- ④ 結の森 植生調査 (事前)
- ⑤ 四万十高校プレゼンテーション
 - ・結の森の活動
 - ・植生調査方法の説明

*天候不良により現地調査できず



清流度調査 (四万十町大正・橋原川)



結の森 植生調査 (事前)



四万十高校プレゼンテーション



結の森 植生調査 (当日)

県立牧野植物園

(自然共生課)

1 概要

牧野植物園は、高知県が生んだ植物学者・牧野富太郎博士の偉業を顕彰する施設として、昭和33年4月に高知市五台山に開園しました。

平成11年に「牧野富太郎記念館」、平成22年に新温室を整備。平成29年に策定した磨き上げ整備基本構想に基づき、平成31年に「こんこん山広場」「ふむふむ広場」のオープン及び常設展示室のリニューアル、令和5年に「植物研究交流センター」のオープンを行うなど、進化を続けています。

植物園地は20.5ha（うち7.8haを供用）。主要施設は上記のほか、温室、土佐寒蘭センターなどがあり、レストラン、ショップ、カフェも運営しています。



常設展示室「展示館シアター」

2 指定管理者

公益財団法人高知県牧野記念財団
(R6.4.1～R9.3.31)

3 令和6年度の主な植物園活動実績など

牧野植物園では、植物に親しみながら、植物の大切さや自然環境の保護保全について改めて考えていただく機会を提供するため、各種教室やイベント、展示活動等を行っています。

(1) 植物教室

植物についての知識の普及を目的とした教室など、社会のニーズを意識した実践的かつ幅広い内容で植物教室を実施しています。

- ・「草花を描く」、「ふれあい植物観察会」、「ハーブの教室」、「くらしの植物教室」など

(2) 子ども向け体験教室

子どもたちに五感で自然を感じてもらうため、様々な体験教室を実施しています。

- ・「生け花で春の草花を楽しもう!」、「植物を描こう!」、「植物標本をつくろう!」など

(3) 学習プログラムなど

遠足や校外学習で来園する未就学児や児童生徒に対し、学習プログラムやクイズ形式の解説を実施するとともに、出前授業を行うなど幅広く植物について学ぶ機会を提供しています。

- ・学習プログラム「フィールドクイズ」、「空とぶタネ」、「実体顕微鏡で観察してみよう」など

(4) 企画展関連イベントなど

植物に興味・関心を抱き、植物園に足を運んでもらうため、植物や牧野富太郎博士に関連した催し、様々な植物の展示や教室、夜間イベントなどを開催しています。

- ・「春のフラワーショー」、「オオオニバスにのろう!」、「夜の植物園」、「五台山 観月会」、「ラン展」、「桜の宵」など



こんこん山広場での春のフラワーショー

(5) その他

来園者への展示解説・植物解説、園外への講師派遣などを行っています。

※令和6年度入園者数:291,157人

4 研究型植物園として

牧野富太郎博士の研究業績を受け継ぎ、県内の自然環境を保全するための研究、調査を実施し、野生植物の分布や生育地の状況の把握に努めています。

また、県内で栽培が可能と思われる薬用植物資源の品目の選定を行い、県内農家で実証試験栽培を行うなど、研究結果を県の産業振興に結び付ける取組を進めています。

さらに、ミャンマーやソロモンで収集した豊富な植物の有用性を見出すためのエキスライブラリー化を進め、県内外の大学や企業との共同研究により、新薬や機能性食品などに利用可能な植物の探索を行っています。

牧野植物園ホームページ

<https://www.makino.or.jp/>

県立甫喜ヶ峰森林公園（林業環境政策課）

1 概要

甫喜ヶ峰森林公園は、昭和53年に開催した第29回全国植樹祭の会場として整備後、森林公園として開放し、以来、県民の憩いの場、児童・生徒の学習の場として多くの県民の皆様により親しまれており、公園の設置目的である「県民に対し、森林に関する知識の普及を図り、もって森林愛護の思想を高める」ため、各種イベントや企画展等の森林や自然にふれあう機会を提供しています。



県立甫喜ヶ峰森林公園（記念の森広場）

2 運営主体

指定管理者：一般社団法人高知県山林協会

3 施策の展開

（1）公園利用促進事業

令和6年度は、自然への理解を深めてもらうための園内ガイドウォーク、自然観察会、動植物の写真・標本展、昆虫教室、キッズフォレストなどを開催し、合計で41回延べ5,350人が参加しました。

（2）森林環境学習実施事業

次代を担う子どもたちを対象に、森林や環境保全について学ぶ機会を提供しており、令和6年度は繁藤災害・山地災害の学習、間伐体験、木工体験などを開催し、合計で15回延べ387人が参加しました。

また、県の補助金を活用した取組みでは、森林や山に対する理解や関心を深めることを目的に「山の一日先生」として学校等へ公園職員を派遣し、ネイチャーゲームやのこぎり体験などを実施しました。

そのほか、森林環境学習の場として学校の受入れも行っています。



公園利用促進事業（自然観察会）



公園利用促進事業（昆虫教室）



森林環境学習実施事業（間伐体験）

4 今後の取組

今後も、親子で楽しめる森林イベントや学校との連携による森林環境学習を通じて、森林や自然への理解を一層深めていただくとともに、森林公園に対する親しみと愛着を育む活動を継続します。

環境活動支援センターえこらぼの活動

(自然共生課)

1 概要

平成18年4月に、県民の行う環境活動に対する支援や環境学習などの推進拠点となる「環境活動支援センターえこらぼ」を開設し、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催などの事業を実施しています。

2 令和6年度の主な活動実績

(1) 情報発信

メールマガジンやホームページなどで、イベント情報の紹介や、環境活動団体及び環境学習講師の情報を提供しました。

(2) 環境学習の支援

環境学習講師の紹介・派遣により、地域や学校での環境学習の支援を行いました。

また、環境学習の機会を提供するため、「環境絵日記コンテスト」を開催しました。

さらに、環境省が行うこどもエコクラブ事業の県事務局として、子どもたちが地域の中で楽しみながら自主的に行う環境学習や実践活動を支援しました。

ア 環境学習講師派遣

学校や地域のイベントなどへ、えこらぼに登録している環境学習講師を紹介・派遣しました。

講師紹介・派遣件数：102件

環境学習受講者数：3,223人

イ 環境絵日記コンテスト

県内の小学生を対象に、環境について考え、行動したことを絵日記に表現することで環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しました。

参加学校数：86校

応募作品数：3,182作品



高知「環境絵日記」表彰式（令和6年11月17日）

ウ こどもエコクラブ事業

子どもたちの地域での環境保全活動、環境学習に対する講師の派遣を行いました。また、こども壁新聞展・交流発表会を3月に開催し、情報交換・意見交換を行いました。

こどもエコクラブ登録数 12クラブ

(令和7年3月31日現在)

(3) 環境学習プログラムリストの配布

学校・地域における環境学習機会の提供を拡大するため、環境学習プログラムリストを配布しました。

- ・小学校向けプログラムリスト

配布先：県内の小学校

各市町村教育委員会など

- ・中学校及び高等学校向けプログラムリスト

配布先：県内の中学校及び高等学校

各市町村教育委員会など

- ・社会人向けプログラムリスト

配布先：県内の公民館、集落活動センター

各市町村教育委員会生涯学習課など

(4) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座

「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及などに関する専門性を有する先導的な人材の育成を行いました。

- ・開催日：令和6年8月3日(土)

令和6年8月24日(土)

- ・受講者：20名(会場12名、オンライン8名)

(5) 生物多様性の意義の普及・啓発

生物多様性という言葉とその意義を広く県民が理解し、一人ひとりのライフスタイルが生物多様性に配慮した行動に変わっていくよう取り組んでいます。

ア 表彰事業

地域における生物多様性の保全と持続可能な利用につながる取組などを表彰する事業「令和6年度 ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞」を開催しました。

(応募：9組)

イ 普及啓発キットの貸出

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的に、普及啓発キットの貸出を行いました。(活用実績：3回)

(6) 環境イベントの開催

「環境活動見本市 in 室戸市

— 東部のエコ大集合 —」の開催

高知県東部地域の環境活動団体や環境学習講師の活動を地域で紹介するとともに、学校や生涯学習の場への環境学習講師紹介・派遣の普及を図ることを目的とする、体験型環境学習イベントを開催しました。

- ・開催日：令和7年2月11日(火)
- ・会場：室戸市保健福祉センターやすらぎ
きらきらひろば
- ・来場者：102人
- ・出展者：10団体



環境活動支援センターえこらぼ

令和6年度受託団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち

所在地：高知市旭町3丁目115番地
こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 / FAX：088-802-2205
E-Mail：center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ：https://ecolabo-kochi.jp/